日本共産党 和歌山市会議員
ひめだ高志ニュース
NO.1394
'22.6.28

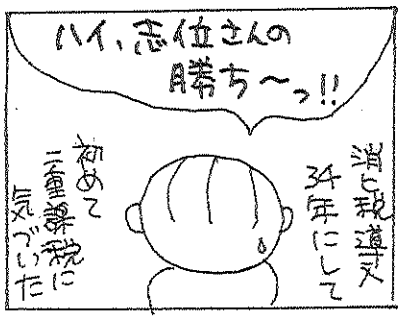
6月定例市議会報告

梅雨入りしたものの、ほとんど雨が降らないうちに梅雨が明けようとしています。選挙期間中に雨が降らないのは助かりますが、農作物への影響などが心配です。さて、6月27日（月）6月定例市議会が終わりました。日本共産党市会議員団は、提案された承認案件1件、議案9件と人事案件6件に賛成。問題のある議案1件については、森下さち子議員が討論で問題点を指摘して反対しました。森下さち子議員の反対討論は、次のとおりです。

一般会計補正予算の問題点

日本共産党市会議員団を代表して、議案第1号に反対の立場から討論を行います。まず、総務管理費中、情報システム管理費5669万3千円について、これはマイナンバーカードの健康保険証としての利用申し込み及び公金受け取り口座の登録に伴うマイナポイントの付与に係る申し込みを支援するためのものということです。マイナンバーは社会保障・税・災害対策の3分野についてのみ導入し情報漏洩やなりすましの防止のため個人情報を一元管理せず、年金情報は年金事務所、地方税情報は市町村と分散して管理することになっています。また、マイナンバーそのものの利用拡大には法改正が必要です。しかし、行政手続きの窓口となるマイナポータルの情報連携の多くは法改正の必要がなく、行政のみならず民間サービスも含め連携が進められています。さらにデータ集約は3分野にとどまらず実質的に広げています。もともと、国民の税・社会保障情報を一元的に管理する「共通番号」の導入は財界が求めてきたもので、国民の所得、資産、社会保障給付を把握することで徴収を強化し社会保障費の削減がねらいです。

フリーの人々 〈1177〉



今週のフリーの人々 （その340）

消費税めぐる論戦

物価高騰対策として消費税減税が切実な課題になっています。自民党の茂木幹事長の「消費税を減税すると社会保障財源を3割以上カットしないといけない」との発言はひどすぎます。

消費税を導入する際、高齢化社会のためとか、社会保障の財源にするとかいったことなど忘れて、34年間で476兆円の消費税収に対し所得税・住民税が289兆円、法人税が324兆円減るなど大企業と富裕層の減税に当て込みながら、よくいうわと思います。

消費税については、日本記者クラブの党首討論で、日本共産党の志位委員長が、大企業の内部留保への課税は二重課税になると言う岸田首相に、所得税・住民税を払った上に消費税を取っていることこそ最悪の二重課税だと指摘したのが秀逸。

ひめだ高志

減を進めるという仕組みになっており、私たちはこのような仕組みには反対です。現在、健康保険証の更新は特別な手続きは必要なく、国保証も郵送されてきます。しかし、マイナンバーカードで利用しようとすると電子証明書の更新でら年ごとに手続きが必要であり、カードの更新には10年ごとに市役所で手続きをしなければなりません。しかも、新しいカードが発行されるまでに最長2か月もかかるという説明でした。公金受け取りに至っては頻繁に行われるものでもありません。カード普及が促進されないのはポイント付与の是非ではなく、国や自治体における情報管理そのものへの不信があるからではないでしょうか。今回計上されたち691万3千円は、全額国負担とはいえ、原資は税金です。このような事業に多額の予算を使うことには賛成できません。

次に文化スポーツ費中、つつじが丘総合公園整備事業について、8700万円の減額補正は、社会資本整備総合交付金の内示に伴うもので、予定していた金額の50%の内示率だったとのことです。残りの額は、来年度以降の債務負担行為として積み増しを行っていますが、来年度以降も満額交付される確証はないとのことです。今後、国の交付金が手当てされなければ、事業そのものが危うくなる恐れがあります。見込み違いというだけでなく、その影響を考える時、多額の費用をかけて行うこの事業が本来、市民にとって必要なものか疑問だと言わざるを得ません。

最後に都市計画総務費中、3D都市モデル整備事業等支援業務委託料700万円について、これは仮想空間に3D都市モデルを再現し都市空間情報プラットフォームを構築した上で、そのデータをオープンデータとして活用することで、まちづくりや地域活性化等の分野でも官民による活用が期待されるという説明でした。今年度は3D都市モデルの構築とともに災害ハザードの可視化に取り組むとのことですが、今後どのように活用するのか具体的な方法については未定とのことでした。さらに市から業者に渡す情報はオープンデータだけではなく、行政しか知りえない情報が含まれるにもかかわらず、使用を業者任せにするのは無責任だと言わざるを得ません。

以上の問題点を含む議案第1号には賛成できません。

こんにちは！日本共産党です

「早期改憲」止めよう

参院選後の「早期改憲」を狙う自民、公明、維新、国民民主の勢力拡大を許すのか、「憲法9条改憲に反対」を貫く日本共産党の躍進か、憲法9条をめぐるかつてなく鋭い対決となっています。自民党の茂木幹事長は20日、「参院選後にできるだけ早いタイミングで、改正原案の国会提案、発議をめざしたい。一連のプロセスについて、主要政党間でスケジュールを共有し、早期に改憲をめざしたい」と明言。

日本共産党の志位委員長は「ウクライナ危機に乗じて憲法9条を改定し、日本を『軍事対軍事』の危険な道に引きこみ、暮らしを押しつぶす、こんな道は止めよう」と呼びかけています。反戦平和を貫いて100年。日本共産党の躍進こそ改憲を押しとどめる決定的な力です。

ホント、本っておもしろい

垣谷美雨（かきやみう）著「姑の遺品整理は迷惑です」「あなたの人生、片づけます」「あなたのゼイ肉、落とします」（いずれも双葉文庫）は、一人暮らしの姑が急死して遺品整理を始めた嫁が、それまで知らなかった姑の生き方を知る物語で終活の参考に。あとの2冊は大庭十萬里（おおばとまり）による片づけ術と十萬里（こまり）の妹の小萬里によるダイエット術の物語。できれば私も大庭姉妹に依頼したい。